

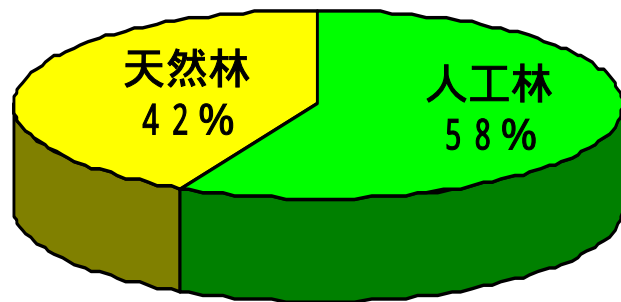
# 次期森林計画についての森林管理署の考え方

西都児湯森林管理署

# 1. 現行計画の概要(平成19年4月1日～24年3月31日)

## (1) 森林計画区の概要

- ・本計画の対象は、一ツ瀬森林計画区を管轄区域とする国有林野26,655haであり、一ツ瀬川、小丸川及び名貫川の中流域に位置しています。
- ・当計画区は宮崎県森林面積約59万haの約5%にあたり、天然林が42%、人工林が58%を占めています。
- ・水源かん養を主とする保安林に指定され、「下流域の水がめ」として重要な役割を担っているほか、優れた森林景観から保健・文化・教育の場として森林の有する公益的機能の発揮が求められています。
- ・尾鈴山系を中心に地形は急峻で、人工林の大部分はスギ・ヒノキ林であり、稜線部にはタブノキ、シイ類等の天然広葉樹が見られ、尾鈴植物群落保護林をはじめ、尾鈴県立自然公園、尾鈴林木遺伝資源保存林等が設定されています。

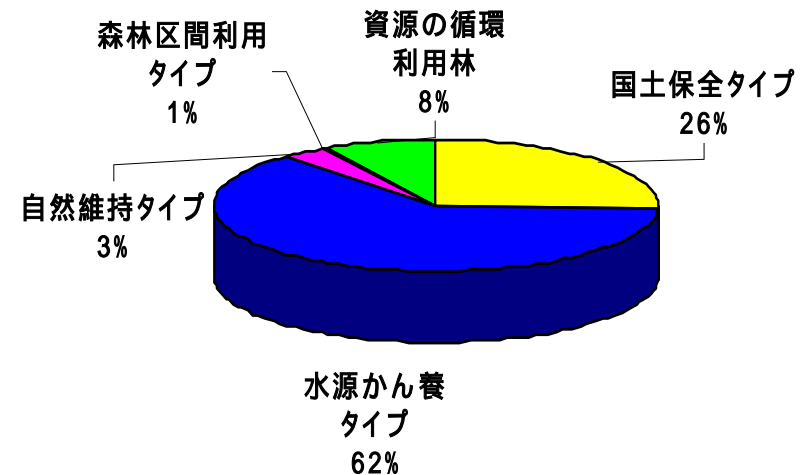


## < 機能類型別面積 >

公益的機能の維持増進を旨とする方針の下、重点的に発揮させるべき機能によって次の3つの類型に区分し管理経営を行っています。

区分		面積ha	機能
水土保全林	国土保全タイプ	6,955	土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命、施設の被害の防備その他の安全で快適な生活環境と国土基盤の保全・形成に係る機能を重視
	水源かん養タイプ	16,584	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重視
森林と人との共生林	自然維持タイプ	786	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重視
	森林空間利用タイプ	207	スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の活動の場や優れた景観の提供及び都市又はその周辺の風致の維持に係る機能を重視
資源の循環利用林		2,124	公益的機能の発揮に配慮しつつ、効率的に木材等の林産物の生産を行うことを重視

## 機能類型別面積



## (2) 計画の概要

### 多様な森林づくりの推進

育成単層林における保育及び間伐の積極的な推進、人為と天然力を適切に組み合わせた多様性に富む育成複層林の積極的な整備、天然生林の的確な保全及び管理等により、重視すべき機能に応じた多様な森林資源の整備及び保全を図っています。



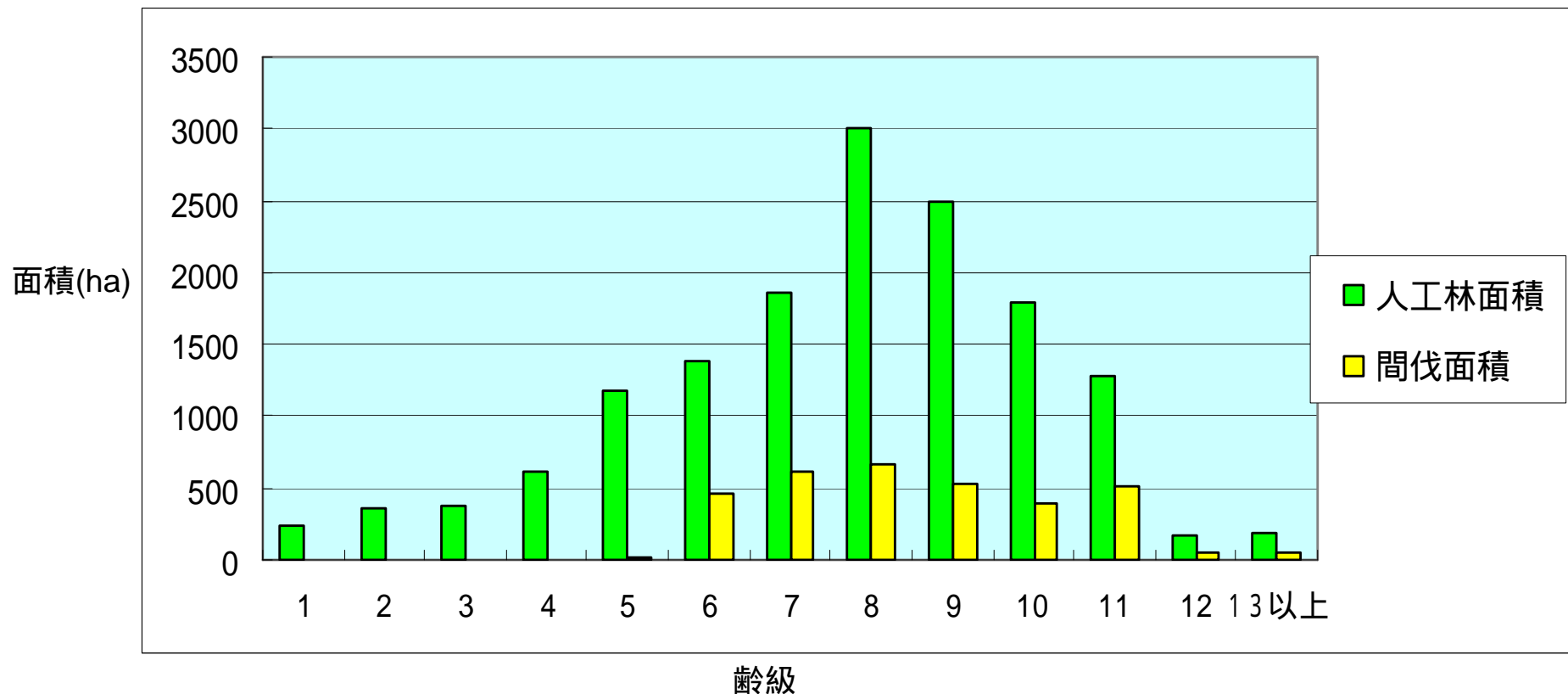
育成単層林



育成複層林

## 間伐を通じた地球温暖化防止の推進

本計画区の人造林の面積は14,946haであり、現行計画(H19~23)では間伐を3,304ha計画しており、地球温暖化防止のためにも間伐を推進しています。

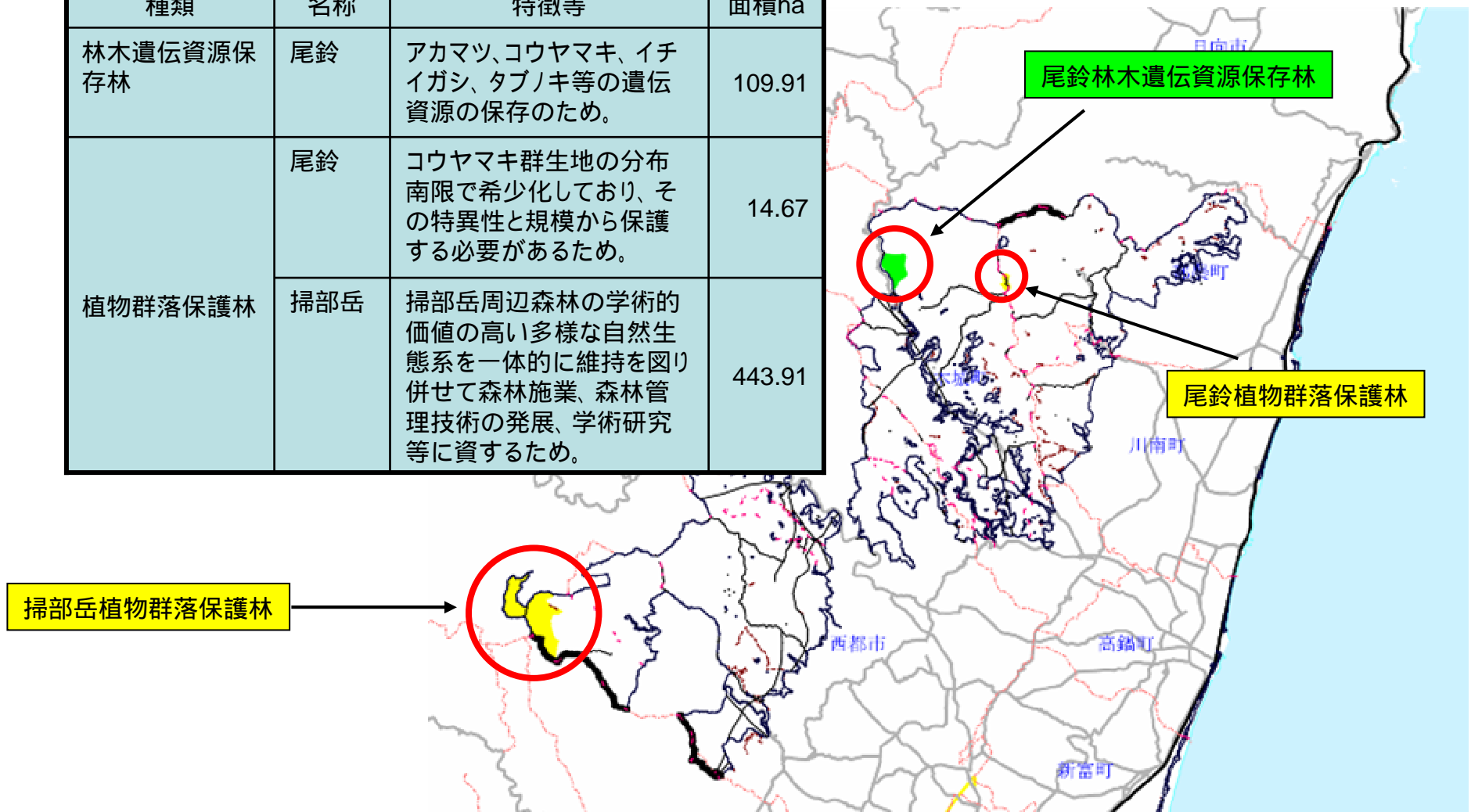


注: 1年齢級は1~5年生を表します。

## 保護林の適切な保全・管理

本計画区には貴重な自然環境としての天然林等が多数存在しており、保護林を設定し適切に保護・保存を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
林木遺伝資源保存林	尾鈴	アカマツ、コウヤマキ、イチイガシ、タブノキ等の遺伝資源の保存のため。	109.91
植物群落保護林	尾鈴	コウヤマキ群生地の分布南限で希少化しており、その特異性と規模から保護する必要があるため。	14.67
	掃部岳	掃部岳周辺森林の学術的価値の高い多様な自然生態系を一体的に維持を図り併せて森林施業、森林管理技術の発展、学術研究等に資するため。	443.91



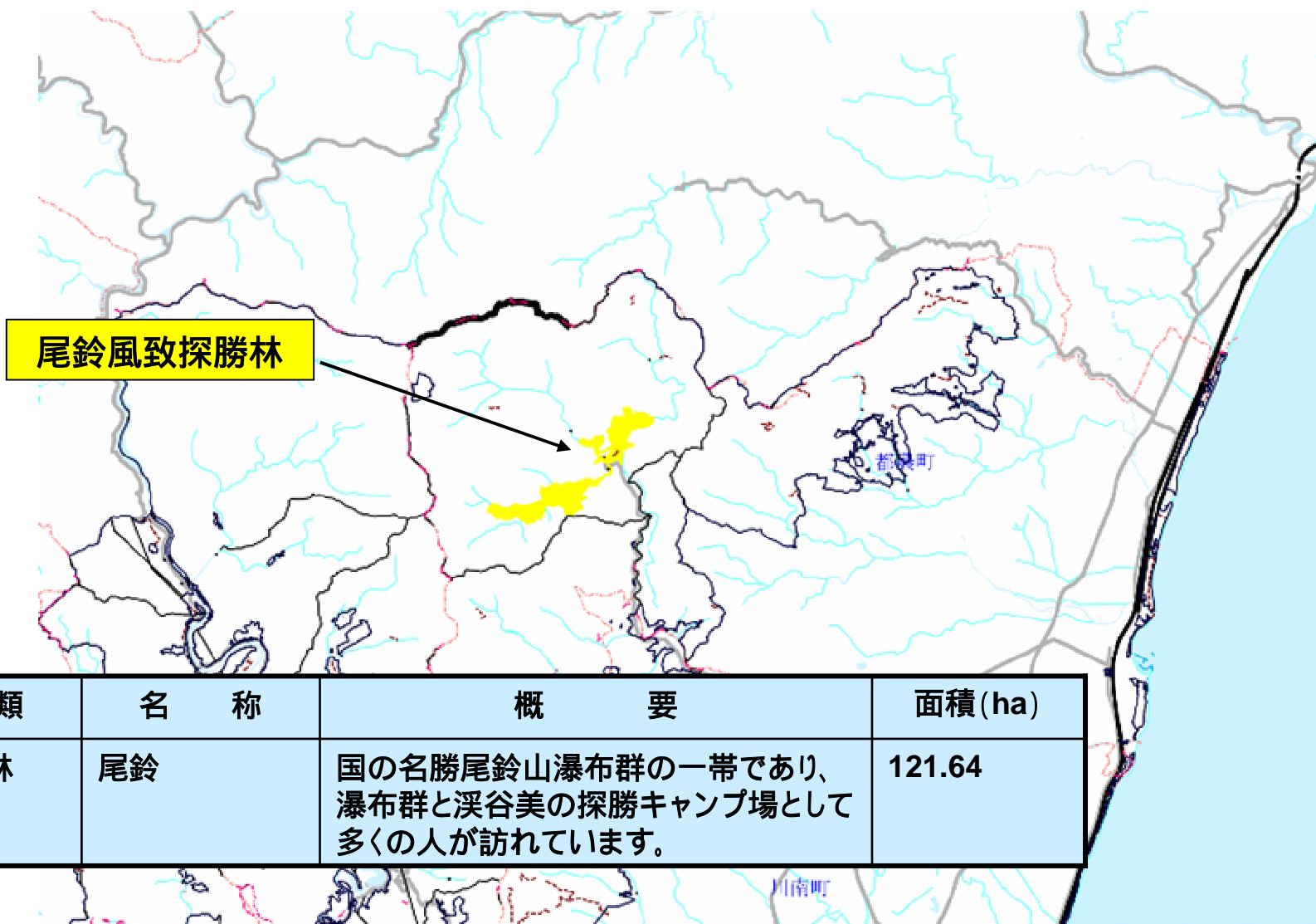
掃部岳植物群落保護林

尾鈴林木遺伝資源保存林

尾鈴植物群落保護林

## レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。



## 国民参加の森林づくりの推進

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

地元ボランティアの方々と協力して海岸林の保全・整備に努めています。



地元市町村やボランティア団体と協働し、海岸林の保育、清掃等を行い、美しい松林の保全に取り組んでいます。

地元の関係者の方々と連携して巨樹・巨木の保護活動に取り組んでいます。



森の巨人たち100選に指定されている「コウヤマキ」の保護活動を地域の関係者で作る保護協議会のメンバーを中心に行っています。

## 流域管理システムの推進

国有林と民有林の連携をより強化し、より効率的な森林整備を推進します。

林業技術向上のため民有林関係者等と現地検討会を実施しています。



「石河内水土保持モデル林」において、流域活性化センター等のメンバーと、スギ・ヒノキ人工林を針葉樹と広葉樹からなる多様な森林へ導くための施業方法について現地検討会を行いました。

## 低コスト林業の実現と木材の安定供給

健全な森林の整備とともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有木材の安定的な供給を推進しています。



林業生産のコスト削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。



製材工場等に木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。

## 安全・安心の確保に向けた治山対策の展開

- (1) 安全・安心の確保に向けた効果的な治山対策に取り組んでいます。



山腹崩壊等山地災害箇所について、山腹工等による早期復旧工事を実施しています。また、資材等に間伐材を利用し間伐材利用の推進に取り組んでいます。

(2)

森林の中で、暮らしを守るために特に重要な役割を果たしている森林を保安林に指定し、その働きが失われないように伐採を制限したり、適切に手を加えるなど、期待される働きを維持できるよう必要な管理を行っています。

種類及び区分		面積(ha)
； —	水源かん養保安林	23,934.40
	土砂流出防備保安林	517.64
	防風保安林	0.42
	潮害防備保安林	187.55
	干害防備保安林	7.12
	保健保安林	258.17
	計	24,576.06



潮害防備保安林

西都児湯森林管理署の保安林

## 2 次期計画の考え方

### (1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高め、ていく必要があります。
- ・京都議定書における我が国の温室効果ガス削減目標6%の達成のため森林吸収量1,300万炭素トンの確保が必要であり、本計画区の国有林野においても、間伐などの森林整備等を進めていく必要があります。
- ・森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。
- ・本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

## (2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進する方向です。
- ・海岸保安林の保全機能を維持することとし、特に松林においては松くい虫などによる被害の防止に引き続き努める方向です。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「ふれあいの森」制度を活用して、国民参加による森林づくりを推進する方向です。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。